



# 神戸製鋼所、関西電力等に対して脱石炭を求める裁判 控訴審 判決期日・期日報告会

2025年

4月24日  
(木)

プログラム  
PROGRAM

※当日の進行次第で、開始時間が前後することがあります。あらかじめご了承ください。  
傍聴券が交付される可能性があります。  
必ず、傍聴券交付情報をご確認ください。

詳細情報  
QRコード



期日報告会  
オンライン配信あり



**裁判所への入廷行動 (12:30-) (仮)**  
**場所：大阪高等裁判所正門前**

原告や弁護団とともに、裁判所への入廷行動に参加しませんか？この裁判を少しでもサポートしたいとお考えの方であれば、どなたでも大歓迎です。



**控訴審 判決期日 (13:10-)**  
**場所：大阪高等裁判所**

今回、判決が言い渡される期日になります。  
この判決は、気候変動時代における人権や環境問題にとって重要な意味を持ちます。  
本件石炭火力発電所が気候政策に与える影響や、その国際的な意義について、裁判所がどのような判断を下すのか、ぜひご注目ください。



**裁判報告会 (15:00-) (仮)**  
**場所：大阪弁護士会館920会議室**

判決言い渡し後、原告・弁護団から所感、補足説明や解説を行う予定です。参加者からの質疑も受け付けます。オンライン配信もあります。

神戸にある4基の石炭火力発電所からは最大で、  
日本の温室効果ガス排出量の約1%を排出  
神戸市における大気汚染物質の最大の固定発生源



神戸石炭民事訴訟

提訴：2018年9月14日

原告：一審 40人（神戸市、芦屋市、西宮市ほか） 控訴審 34人（同）

被告：神戸製鋼所、コベルコパワー神戸第二（神戸製鋼所完全子会社）、関西電力（売電先）

請求：気候変動、大気汚染への影響から石炭火力発電所の稼働差し止め



### 地球温暖化の時代は終わり”地球沸騰の時代”が訪れた

WMO（世界気象機関）は、2024年の世界平均気温が産業革命前より1.55℃上昇し、観測史上最も暑い年になったと発表しました。また、異常気象は教育にも影響を及ぼし、ユニセフによれば、2024年には85カ国で約2億4,200万人（世界の子ども約7人に1人に相当）の子どもたちが気象災害により学校教育の中断を余儀なくされました。



### 石炭火力発電が世界の気温上昇の”唯一最大の原因”である

地球沸騰の時代は、人類が化石燃料利用において温室効果ガスを大量に排出してきたことにあります。とりわけ石炭火力発電について、日本を含む先進7カ国（G7）は、今日の気温上昇を招いた「唯一最大の原因である」との共通認識を示しています。



### 気候変動は地球環境問題であり”人権の問題”である

2022年7月、国連総会において「安全で清潔、健康で持続可能な環境へのアクセスは普遍的な人権である」との決議がされました。気候変動問題は、**重大な人権問題**として認識されるようになり、人権擁護の観点から裁判所へ訴える動きが世界的に広がっています。

事務局：神戸の石炭火力発電を考える会

 <https://kobeclimatecase.jp/>

 [kobesekitan@gmail.com](mailto:kobesekitan@gmail.com)